国連諸機関駐日代表による学生向けセミナー（広島大学）

WFP日本事務代表代理　淺野寧子

2026年8月3日

浅野寧子　略歴

- 大学院卒業後、仏の製薬会社に就職、UNICEFアフガニスタン国事務所で勤務
- その後、UNDP、WFP、外務省、 グローバルファンドやなど、東京、ローマ、ジュネーブや現地事務所（スーダン等）各地で勤務
- 専門はパートナーシップ、マネージメント
- 国連・国際機関でのキャリアは通算約25年
- 現在、国連WFP日本事務所代表代理　兼　民間連携マネージャー

飢餓の現状とその要因

世界的な食料危機

急性食料不安（Acute hunger）＝食料摂取の不足が原因で生命が即時的な危険にさらされている状態

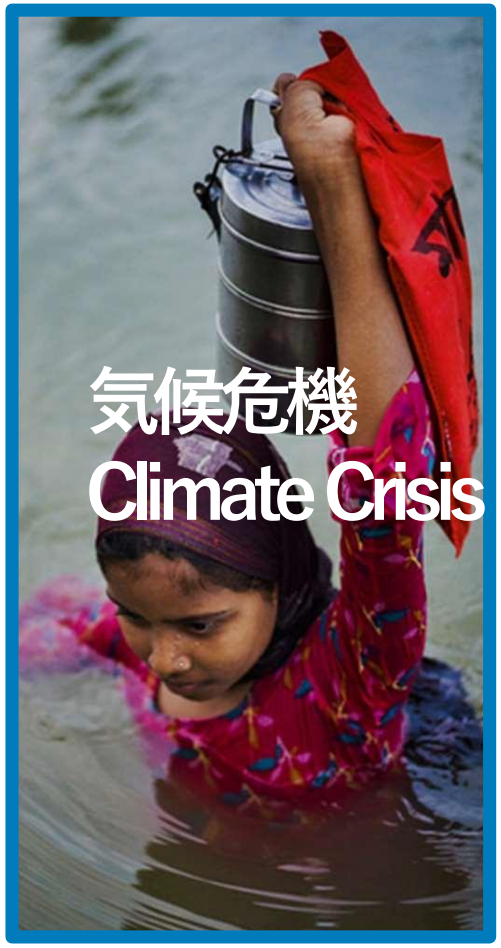
- 2026年4月時点で2億6600万人が急性食料不安
- 中東紛争が長引けば、史上最悪になる可能性
- 2025年にはガザ地区とスーダンの一部で飢きん（IPC５）が確認された

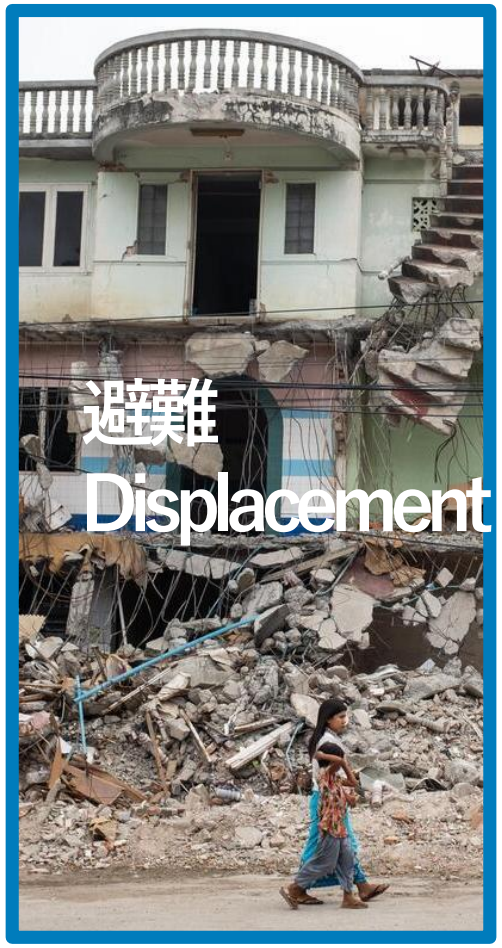
2025年の慢性の飢餓（Chronic hunger）- 長期的な食料不足状態

- 約6億4,500万人（世界人口の7.8%）
- 3年連続で減少傾向ではあるが、
- 進捗は依然不安定
- 地域間格差依然として顕著
- 改善はアジアとラテンアメリカ・カリブ海地域の貢献
- アフリカはどの地域よりも飢餓人口が多い

飢餓の要因

紛争
Conflict


気候危機
Climate Crisis


避難
Displacement

経済格差
Economic
inequalities

紛争

- 紛争解決は飢餓をなくす上で最大の課題
- 紛争下の国では農業などの産業が破壊され、輸送、調達経路が破壊されたり絶たれたりして食料が手の届かないものに
- パレスチナ、スーダン、シリア、イエメン、ウクライナ等

気候危機

- 世界の人口の４０％以上は異常気象に脆弱な地域に居住
- 気候変動で自然災害の頻度やばしさが増加。（台風、干ば激つ、洪水、ハリケーン、熱波）
- 気候変動は自然災害を引き起こし、農地、家畜、漁業資源、インフラ、サプライチェーン等を破壊、生計に深刻な打撃
- 少ない資源をめぐり社会的な対立や紛争の激化につながる

世界食糧計画（WFP）の役割・仕事

SDGs目標２　飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

WFP

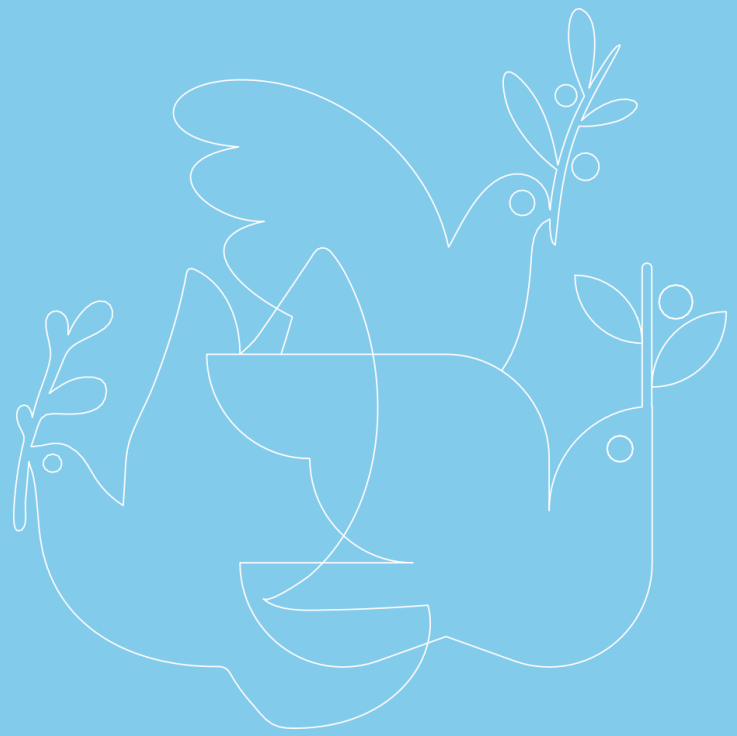
across the world

- 飢餓ゼロを目指して食料支援を行う世界最大の人道支援機関
- 世界120カ国・地域で活動
- 1億1100万人を支援（2026年目標値）
- 年間の事業予算130億ドル

- 1961年に設立
- 本部：ローマ（イタリア）
- 職員数：約20,000人（日本人は約80人）
- 約90％の職員はフィールドで勤務

2020年ノーベル平和賞受賞

飢餓との闘いに尽力してきたこと、紛争地域で平和に向けた状況改善に貢献し、飢餓が戦争や紛争の武器として利用されることを阻止する原動力となったことを評価



緊急支援

- 自然災害や紛争などの緊急事態発生後、48時間以内に最初の支援を届ける
- 物流、緊急情報通信、栄養の専門性を駆使しつつ、最も脆弱な人びとへの食料支援を実施
- ニーズに合わせた支援を性別・年齢別データやジェンダー分析に基づき実施。脆弱性を考慮して食料不安を評価、食料支援を実施

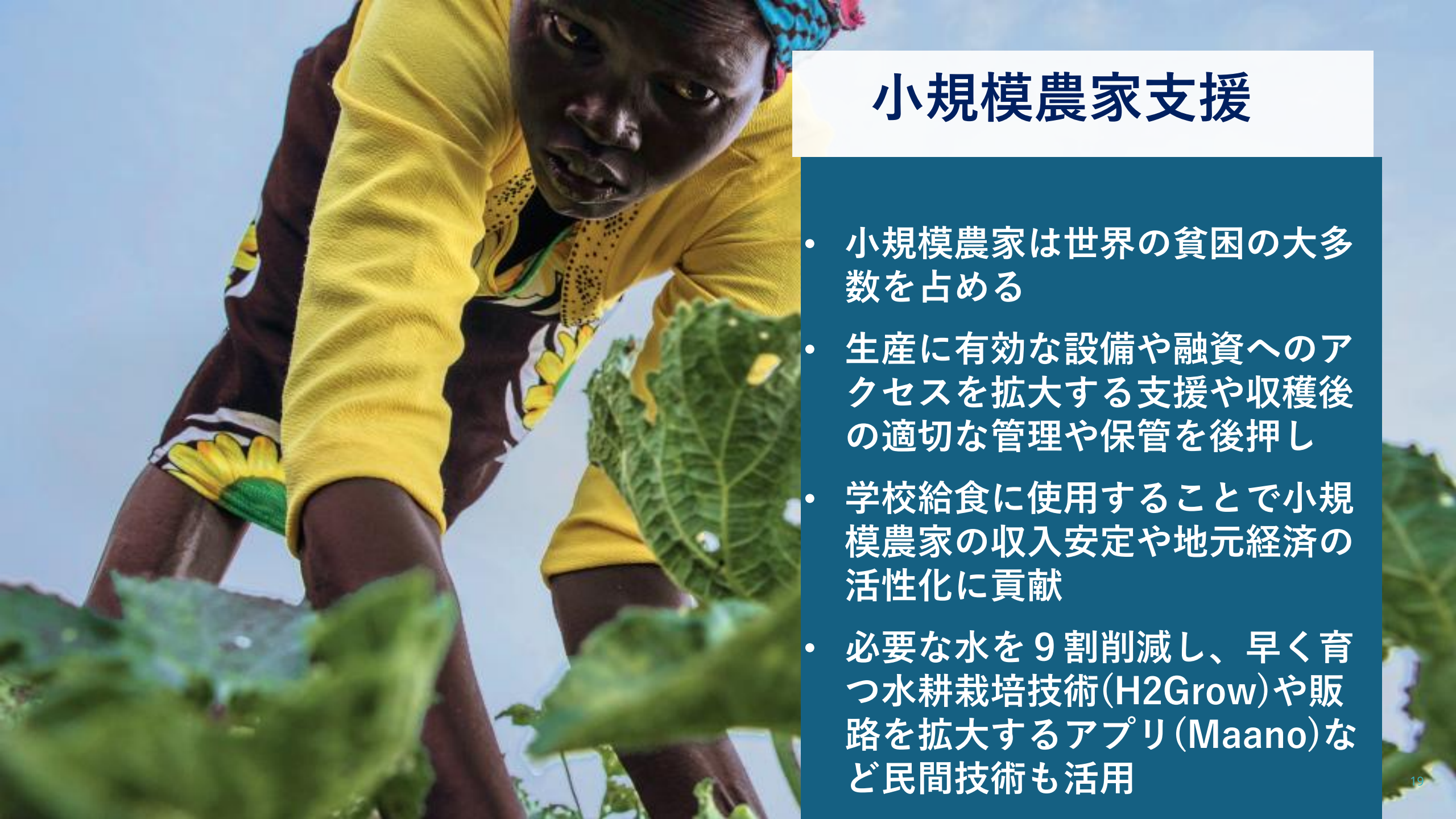
水陸両用車

南スーダンでの空中投下

WFPの食料バスケット

現金支給

- 市場や金融セクターが機能している場合、食料を提供する代わりに現金を支給。地元の商店などで各家庭のニーズにあった食品を購入してもらう
- 銀行口座への送金、紙の食料引換券の他、モバイルマネーやデビットカードも活用。写真や指紋、虹彩認証を組み込んだ電子バウチャーの導入や携帯端末を通じた送金

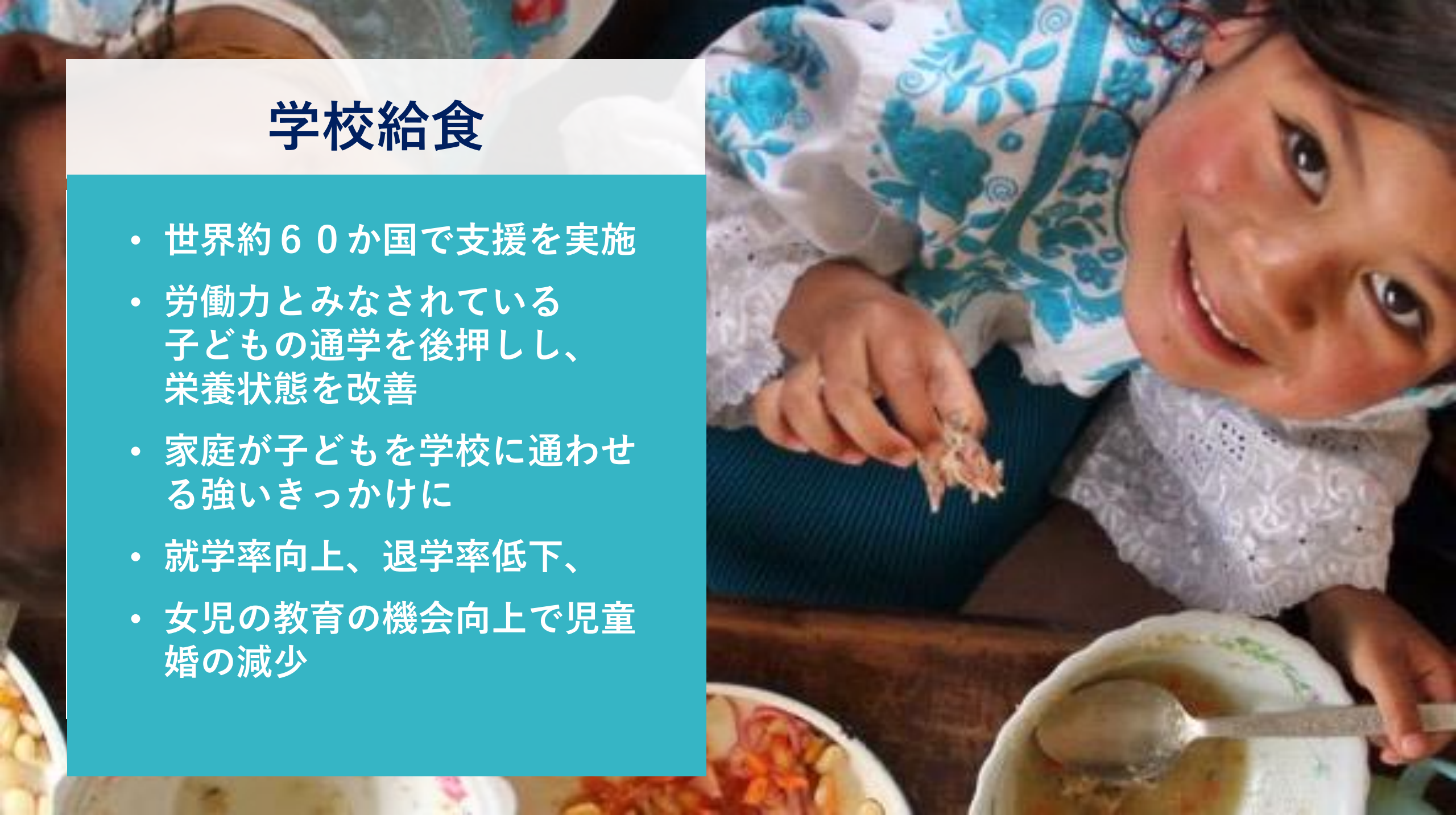


小規模農家支援

- 小規模農家は世界の貧困の大多数を占める
- 生産に有効な設備や融資へのアクセスを拡大する支援や収穫後の適切な管理や保管を後押し
- 学校給食に使用することで小規模農家の収入安定や地元経済の活性化に貢献
- 必要な水を９割削減し、早く育つ水耕栽培技術(H2Grow)や販路を拡大するアプリ(Maano)など民間技術も活用

学校給食

- 世界約６０か国で支援を実施
- 労働力とみなされている
  子どもの通学を後押しし、
  栄養状態を改善
- 家庭が子どもを学校に通わせる強いきっかけに
- 就学率向上、退学率低下、
- 女児の教育の機会向上で児童婚の減少



母子栄養支援

- 生命を受けてから最初の1000日間（胎児から2歳まで）の栄養状況はその後の健康や脳の発達に大きな影響
- 妊娠中や授乳中の女性、乳幼児への栄養支援
- 低栄養だけではなくあらゆる栄養不良をなくすための支援も行う（微量栄養素欠乏や過体重）
- 健康的な食事へのアクセスを若い世代、妊産婦や乳幼児、HIV陽性者などを含む人たちへ提供

緊急支援から開発支援まで

- 緊急事態の段階から抜け出したら、自立を促すための支援へ移行
- 乳幼児・妊婦への栄養支援、学校給食、生計向上支援、政府のキャパビルなど様々な支援を通じて食料安全保障を確保

WFP日本事務所の役割

1996年10月に横浜市に開設

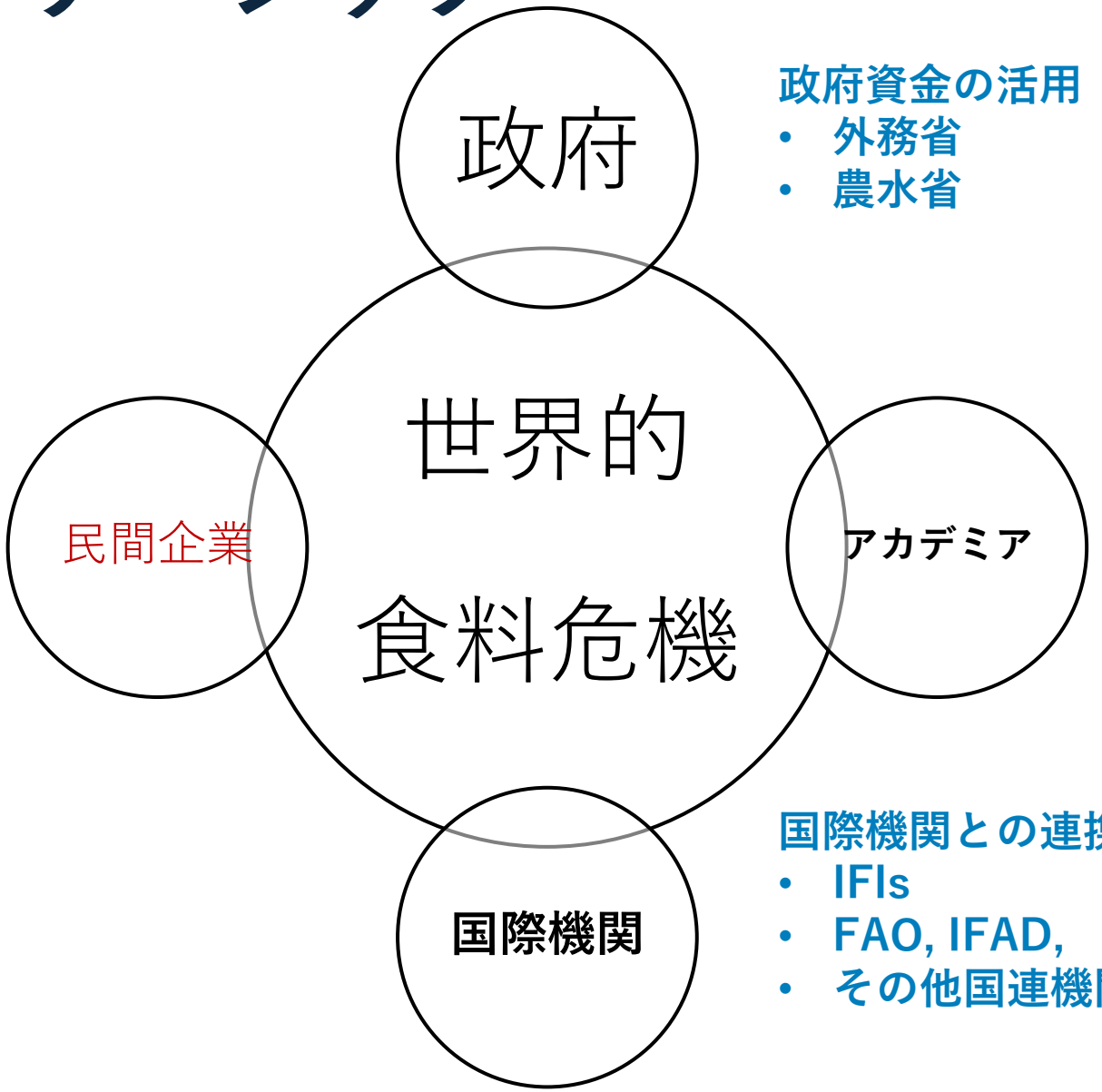
主な役割：

1. 日本政府との連絡・調整業務、および、各種団体・NGO との協力関係の推進

2. 民間企業との連絡調整業務、またWFP協会の管理・調整（民間寄付など）

3. 広報活動

多様なパートナーシップ



政府資金の活用
- 外務省
- 農水省

民間企業との連携
- 企業・団体
- 個人

ーー＞資金的支援
ーー＞技術的支援
ーー＞現物支援

- 講演会
- 知見の共有
- 政策提言
- 啓蒙活動

国際機関との連携
- IFIs
- FAO, IFAD,
- その他国連機関

WFP World Food Programme

民間企業との連携

1. 資金的支援 (Cash Contribution)

NPO法人(WFP協会）を通じた寄付訴求活動

- 国連WFP実施プロジェクトへの資金供与
  - 学校給食支援
  - 母子栄養支援
  - 自立支援　他
- 地震や洪水、紛争発生時の義援金の送付
  - アフガニスタン緊急支援
  - パレスチナ緊急支援
  - ベネズエラ地震緊急支援　他

2. 技術的支援

WFP本体を介したパートナーシップ

- 企業の技術を活かし、緊急災害時の通信確保、Emergency Telecommunication Cluster (ETC)との連携
- ドローン、衛星などを活用した防災マッピングのリアルタイム情報提供等による災害緊急支援
- 衛星を使った天候予測による農業生産性の向上支援
- 再生可能エネルギー（ソーラーエネルギー使用など）を活用した食料生産支援
- 気候ファイナンス、マイクロインシュランス など金融サービスの提供

民間企業との連携事例

日本企業との技術的協力の例

- JSAT: フィリピンの災害対策として緊急時通信能力強化のために衛星通信を寄贈
- 豊田通商: ガーナおよびケニアにおける輸送および車両管理分野の能力強化研修
- 武田薬品:マラウイ、ザンビア、コートジボワール、ギニアにおける保健物資供給（サプライチェーン）網の強化を通じて、Health分野での危機（COVIDなど）への対応能力を向上

国連で働くために
求められる資質・経験

国連職員に求められる能力

1. **Communication**
明確で効果的な表現能力、聞き取り能力、対話能力、情報の共有

2. Teamwork
協調性、同僚に学ぶ意欲、チーム全体を考慮しての行動、責任の共有

3. Planning & Organizing
戦略に沿った明確な目標の設定、優先順位の明確化

4. Accountability
職務遂行能力、内部規定の遵守、業務に関する説明責任

5. Creativity
職務・サービスの改善に対する積極的追求、新たなアイデアの提供

6. Client Orientation
顧客の視点に立つ、ニーズへの適切な対応、期限の遵守

7. Commitment to Continuous Learning
自らの能力を不断に磨く、他者に学ぶ精神

8. Technological Awareness
職務に有用な技術の理解と活用、新技術習得の意欲

WFPのDNA

- 人道主義
- 現場主義
- 結果主義
- モビリティ
- スピード

WFPにおけるキャリアパス

WFPへの入り口

１）JPO に応募
２）UNVに応募
３）JICA海外青年協力隊（JOCV)などで国際協力の経験を積む
４）職務経験を積んだ後、コンサルタントの公募ポストに応募
５）正規職員の外部公募ポストに応募

WFPにおけるキャリアの魅力

- 飢餓撲滅のミッション
- ノーベル平和賞受賞機関ーー＞やりがい、誇り
- 活動が分かりやすい（食料支援）
- 実力主義、アクションを重んじる組織
- 多様な仕事の選択肢
- 様々な文化・背景の同僚と仕事ができる

チャレンジ

- 危険・困難な任地への赴任
- 母国から離れる
- 子どもの教育、家族との時間
- 国連での経験から民間への転職は限られる

Remarks by Mr. Philip Ward, Sectretary to the Executive Board. Photo Credit: WFP/Matteo Minnella

広島大の学生さんたちへ

国際機関や国際協力の分野に関心のある学生さんへ

- 英語でのコミュニケーションスキルを伸ばす
- プレゼン、ディスカッション能力を培う
- 英語以外の外国語もある程度習得する
- ネットワーキング力が大切
- 自分の専門分野を作り、経験を積む
- 職務経験を積む(民間企業、NGO、官庁、協力隊、ボランティア、インターンなど)
- 即戦力となるスキルを持つ人となる

Thank you !

WFP World Food Programme